



気候講演会

2015年 **1**月**16**日(金)

15:00 ~ 17:30(開場14:30) 事前申し込み制・定員200名

場所: 気象庁講堂 (東京都千代田区大手町1-3-4)

参加無料

# 地球温暖化 と雨

## 問い合わせ先

気象庁 地球環境・海洋部 地球環境業務課 ( 03-3212-8341 内:4225)

E-mail: [kikou-kouenkai@met.kishou.go.jp](mailto:kikou-kouenkai@met.kishou.go.jp)

Web: [http://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/climate\\_lecture/index.html](http://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/climate_lecture/index.html)

詳細は気象庁HPのトップページからも参照いただけます。

主催: 気象庁、一般財団法人 日本気象協会、一般財団法人 気象業務支援センター

## 申し込み方法

「代表者のお名前、参加人数、電話番号、メールアドレス又はFAX番号」を、メール又はFAXにてお知らせください。QRコードから申し込み先メールアドレスを取得できます。



近年、大雨による災害の発生が多く、雨の降り方が変わってきたのではないかと、といった感覚を持つ方も多いのではないのでしょうか。アメダス地点について調べてみると、確かに、1時間降水量が50mm、80mm以上の短時間強雨の頻度が増加しています。これには地球温暖化により対流圏の水蒸気量が増加したことが寄与している可能性があると考えられています。

このような状況の中、今回の講演会では、将来にわたって雨の降り方はどのように変わっていくのか、そしてこの雨の降り方の変化に伴って洪水等の発生がどのように変化するか、更には地球温暖化が私たちの生活をとりまく環境に対してどのようなリスクになり得るのか、といったことについて最新の科学的な知見をもとにお伝えします。



### 講演 1

#### 「将来の雨の予測

- より精度の高い予測への取り組み -」

高橋 出

気象研究所 環境・応用気象研究部 第二研究室 室長



### 講演 2

#### 「地球温暖化による降水の変化に伴う

洪水・浸水・氾濫の予測技術」

立川 康人

京都大学大学院 工学研究科 教授



### 講演 3

#### 「地球温暖化リスクに関する最新の科学的知見

—IPCC第5次評価報告書をふまえて—」

高橋 潔

国立環境研究所 社会環境システム研究センター

総合評価モデリング研究室 主任研究員

平成26年度気候講演会 申込用紙(FAX用)

FAX: 03-3211-8309 (気象庁 地球環境業務課)

お名前(代表者) \_\_\_\_\_

参加人数 \_\_\_\_\_

電話(FAX)番号 \_\_\_\_\_

切り取らずにこのまま送信してください。  
個人情報は本講演会への登録以外には使用致しません。

